

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術の振興と発信		課(室)名	文化財課
	施策	文化財の保存・活用		電話番号	087-861-4520
	基本事業	文化財に関する施設の運営と機能充実		事業実施主体	市
	事務事業	香南歴史民俗郷土館管理運営事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	香南地区の有力豪族由佐氏の居城跡という館の立地を生かして、高松平野南部地域の歴史民俗資料の収集・保管・調査を行うとともに、展示及び講座等の教育活動を実施する。					
30年度概要	企画展等	12展	教育普及事業等	50回程度	その他事業	15回程度
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の種類		

【事業の目的】

対象(何を)	小学生以上の一般市民
意図(どのような状態にしたいか)	多くの市民が施設を利用することにより、郷土の歴史、民俗等に関する市民の知識の向上と市民文化の発展に寄与する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的などのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
資料館主催(共催)事業数	件		76	79	77	77

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	利用人数	人	目標値		35,387	38,280	33,000	33,000
			実績値		38,280	33,973		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 積極的な広報を行ったが、まだまだ郷土館の存在が浸透しておらず、目標値を下回った。 (目標達成度)						(達成度) 88.7%	
							31点	
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)						(達成度)	

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	20,782	13,284	12,390	12,050
(事業費)	[円]	13,105	13,284	12,390	12,050
(職員人件費)	[円]	7,677	0	0	0

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
前年度と比べて利用者数が減少したが、ほぼ目標どおり事業を実施できた。今後は、さらなる利用者数の増加(展示等の実施、展示内容及び資料の充実、運営、積極的な広報等)及び老朽化した施設等の整備・更新が課題である。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
高松市南部の文化施設である地の利を生かした内容の企画展や講座を開催するとともに、図書室も併設した郷土館の特色を生かし、利用者のさらなる増加に努める。			

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術の振興と発信		課(室)名	文化財課
	施策	文化財の保存・活用		電話番号	087-861-4520
	基本事業	文化財に関する施設の運営と機能充実		事業実施主体	市
	事務事業	讃岐国分寺跡資料館管理運営事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	特別史跡讃岐国分寺跡の歴史的意義等を周知するため、展示及び教育普及活動を実施する。				
	30年度概要	企画展等 教育普及事業等 史跡まつり	5回 60回程度 1回		
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	

【事業の目的】

対象(何を)	小学生以上の一般市民
意図(どのような状態にしたいか)	多くの市民が施設を利用することにより、特別史跡讃岐国分寺跡の歴史的意義が広く認識され、文化財の保存および活用の促進につながるとともに歴史に関する市民の知識および教養の向上と市民文化の発展に寄与する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
資料館主催(共催)事業数	件		60	61	66	66

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	利用人数	人	目標値		22,386	22,109	22,500	22,500
			実績値		22,109	22,161		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 積極的な広報に努めた結果、僅かではあるが目標値を上回った。 (目標達成度)						(達成度) 100.2%	35点
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)						(達成度)	

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[千円]	17,303	16,831	17,356	17,282
(事業費)	[千円]	9,626	8,980	9,769	9,695
(職員人件費)	[千円]	7,677	7,851	7,587	7,587

【評価】

評価ランク (A~D)	<b>A</b>	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	<b>継続</b>
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
前年度と比べて利用者数が僅かに減少したが、ほぼ目標どおり事業を実施できた。今後は、さらなる利用者数の増加(展示等の実施、展示内容及び資料の充実、運営、積極的な広報等)及び老朽化した施設等の整備・更新が課題である。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
特別史跡讃岐国分寺跡の歴史的意義等を広く情報発信するとともに、地域に根差した講演会・講座等を開催し、讃岐国分寺史跡まつりの開催を通して、地域と連携し、利用者のさらなる増加に努める。			

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術の振興と発信		課(室)名	文化財課
	施策	文化財の保存・活用		電話番号	087-861-4520
	基本事業	文化財に関する施設の運営と機能充実		事業実施主体	市
	事務事業	石の民俗資料館管理運営事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	石と人間のかかわりの文化を観点に資料の収集・保管・調査を行うとともに、展示・体験学習などの教育活動を実施する。				
30年度概要	企画展等 ホール展等 教育普及事業等 コンサート等	5展 8展 35回程度 6回			
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型			


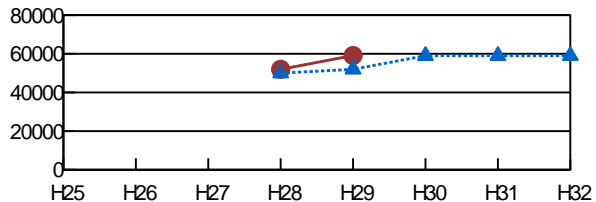
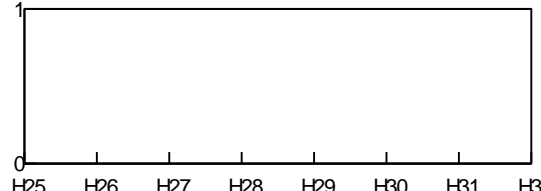
【事業の目的】

対象(何を)	小学生以上の一般市民
意図(どのような状態にしたいか)	多くの市民が施設を利用することにより、石と人間とのかかわりの文化史を通して歴史、民俗等に関する市民の知識の向上と日常的な健康増進に寄与する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
資料館主催(共催)事業数	件		56	58	54	54

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
利用人数	人	目標値		50,000	51,973	59,000	52,000
		実績値		51,973	59,090		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 企画展や教育普及活動等の充実、石匠の里公園の遊具の修繕に努めた結果、目標値を上回った。 		(目標達成度)					(達成度) 113.7%
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	31,376	39,372	38,115	30,873
(事業費)	[円]	23,699	23,670	22,941	23,286
(職員人件費)	[円]	7,677	15,702	15,174	7,587

【評価】

評価ランク(A~D)	<b>A</b>	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	<b>継続</b>
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
前年度と比べて利用者数が増加し、目標どおりに事業を実施できた。今後も目標を達成しつつ、老朽化した施設等の整備・更新が課題である。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
館の主旨である石と人間とのかかわりの文化に関わる企画展を通して、広く情報発信するとともに、地元文化団体との連携を図り企画展を開催するなど、地域に根差した館運営を行いつつ、利用者のさらなる増加に努める。			

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術の振興と発信		課(室)名	文化財課
	施策	文化財の保存・活用		電話番号	087-861-4520
	基本事業	文化財に関する施設の運営と機能充実		事業実施主体	市
	事務事業	歴史資料館教育普及活動事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	郷土の歴史や文化についての興味を喚起し、知識を深められるような教育普及事業を実施する。		
30年度概要	サンクリスタル学習 夏休み子ども歴史講座、子ども歴史クイズ 企画展等関連イベント 古文書講座 サポート事業等		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象(何を)	小学生以上の一般市民
意図(どのような状態にしたいか)	参加者の郷土史及び文化並びに歴史資料への興味関心を深める。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
教育普及事業の開催回数	回		131	125	130	130

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	教育普及活動の受講者数	人	目標値		5,375	5,680	5,000	5,000
			実績値		5,680	4,722		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 展覧会観覧者数の減少に伴い、講座の受講者数が減少するとともに、サンクリスタル学習の参加校数の減少に伴い参加人数も減少し、目標値を下回った。	(目標達成度)						(達成度) 83.1%
								29点
	サンクリスタル学習参加校数	校	目標値		36	38	37	37
			実績値		36	33		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 事前周知会において、サンクリスタル学習の必要性及び有益性を各校担当教諭に説明するとともに積極的な参加を促したが、各校の都合等もあり目標値を下回った。	(目標達成度)						(達成度) 86.8%
								30点

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	7,695	14,199	13,436	12,003
(事業費)	[円]	4,624	3,993	3,573	4,416
(職員人件費)	[円]	3,071	10,206	9,863	7,587

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
前年度と比べて参加者数が減少したが、ほぼ目標どおり事業を実施できた。今後は、さらなる参加者数の増加(ワークショップ等の実施、各事業内容の充実、積極的な広報等)が課題である。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
企画展等に関連した講座・講演会等のほか、郷土の歴史や文化に関する知識を深められる内容の講座等を開催し、積極的な情報提供により、参加者のさらなる増加に努める。サンクリスタル学習については、事前周知会で必要性及び有益性を各校担当教諭に説明し、積極的な参加を促す。			

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術の振興と発信		課(室)名	文化財課
	施策	文化財の保存・活用		電話番号	087-861-4520
	基本事業	文化財に関する施設の運営と機能充実		事業実施主体	市
	事務事業	歴史資料館常設展事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	企画展・ロビー展などの開催 高松の歴史や文化に関する資料の収集・保存 収蔵資料の整理調査と収蔵品システムへの登録・公開 ボランティア団体との連携によるサービスの充実		
30年度概要	企画展等 4展 ロビー展等 10展程度 常設展資料入替 資料の寄贈受入等		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	



【事業の目的】

対象(何を)	小学生以上の一般市民
意図(どのような状態にしたいか)	本市の歴史や文化を学ぶ施設として郷土の文化遺産を継承し、調査の成果や情報を発信することにより、本市の歴史、考古、民俗等に関する市民の知識及び教養の向上と市民文化の発展に寄与する

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
展覧会開催本数	本		15	13	14	14
収蔵品システム登録資料数	点		299	844	350	200

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
展覧会観覧者数	人	目標値		28,678	26,417	27,000	27,000
		実績値		26,417	25,794		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	<p>企画展をはじめ学習室及びロビーでの展示も積極的に行ったが、28年度の瀬戸内国際芸術祭関連企画展による入館者数増の反動により、29年度は目標値をわずかに下回った。</p> 						(達成度) 97.6% 34点
収蔵品システムHPアクセス数	回	目標値		18,700	29,380	30,000	30,000
		実績値		29,380	29,421		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	<p>システムのデータ更新に努め、僅かではあるが目標値を上回った。</p> 						(達成度) 100.1% 35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	17,100	17,167	15,978	13,426
(事業費)	[円]	7,120	6,961	6,115	5,839
(職員人件費)	[円]	9,980	10,206	9,863	7,587

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

前年度と比べて観覧者数が減少したが、ほぼ目標どおり事業を実施できた。今後は、さらなる観覧者数の増加(展示等の実施、展示内容及び資料の充実、積極的な広報等)及び老朽化した設備の整備・更新が課題である。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

郷土高松に残る歴史や文化について、市民等の要望を取り入れながら創意工夫した企画展等を計画・開催するとともに、企画展等に関連した講座・講演会等を開催し、積極的な情報提供により、利用者のさらなる増加に努める。